

離島

 Part.5

の振興

沖縄は、本島のほか多くの離島（うち有人離島三十九島）から成っているが、これらの離島は、地理的・自然的条件により、経済社会の発展が制約を受けており、生活水準及び生産機能は、他の地域に比較して低位にあるとともに、過疎化の進行等多くの問題を抱えています。

このため、離島地域の活性化を図っていくことは沖縄の振興にとって重要な課題となっています。

離島の振興については、復帰後住民生活の安定向上を図るため、交通の確保、農業の振興、保健医療対策、教育施設の整備、生活基盤の整備等のほか、沖縄振興開発特別事業として離島電気供給施設、離島総合振興センター等の整備が推進されてきました。

また、平成十四年四月一日に施行された沖縄振興特別措置法においても、沖縄振興計画において「離島の振興に関する事項」を定めることとしているほか、離島の地域における高齢者福祉の増進、交通の確保、小規模校における教育の充実、旅館業に係る課税の特例等の措置を引き続き講じることになっています。

離島電気供給施設整備状況

離島名	市町村名	布設距離 km	区 間	事業主体	施行年度
大神島	平良市	4.0	狩俣～大神	平良市	S54
水納島	本部町	4.0	瀬底～水納	本部町	S55
鳩間島	竹富町	6.7	西表中野～鳩間	竹富町	S57～58
西表島・舟浮	竹富町	4.0	西表・白浜～舟浮	竹富町農協	S59～60
新城島	竹富町	7.6	西表～下地～上地	竹富町農協	S61～62
水納島	多良間村	8.7	多良間～水納	宮古郡農協	S62～H1

(1) 離島電気供給事業 (海底送電施設)

離島電気供給施設は、沖縄の離島における農林水産業の生産力増大及び地域住民の生活向上を図るために必要な電気を供給する施設として建設されたものであり、平成元年度には全ての事業が完了しています。

海底送水管施設整備状況

施行年度	送水管敷設区間	事業主体	施設計画	
			給水人口 (人)	給水量 (m ³ /日)
S46	平良市狩俣（宮古島）～池間島	宮古島上水道企業団	2,500	420
S47～S49	西表島～新城島～黒島	竹富町	746	220
"	下地町前浜（宮古島）～来間島	宮古島上水道企業団	548	206
"	勝連町平敷屋（沖縄本島）～津堅島	勝連町	1,600	270
S50	奥武島～オーハ島	仲里村	117	21
S50～S51	石垣市新川（石垣島）～竹富町	竹富町	550	140
"	本部町備瀬（沖縄本島）～伊江島	県企業局	8,000	1,700
"	今帰仁村運天（沖縄本島）～古宇利島	今帰仁村	1,200	255
S52～S53	西表島～小浜島	竹富町	1,000	400
"	知念村吉富（沖縄本島）～久高島	知念村	540	140
S54～S55	西表島～鳩間島	竹富町	100	40
"	平良市狩俣（宮古島）～大神島	宮古島上水道企業団	200	80
S55	瀬底島（本部町）～水納島	本部町	140	71
S56～S57	本部町健堅（沖縄本島）～瀬底島	"	1,051	473
"	平安座島（与那城町）～浜比嘉島	勝連町	1,180	306

(2) 離島水道事業

沖縄県の離島においては、これまで井戸や溜池より取水してきたが、渇水時における水の確保に支障をきたしていました。将来の離島の開発事業を円滑に推進するためにも給水施設の整備が急務でした。このため、水源に恵まれない離島においては、海底送水管を敷設し、敷設困難な離島においては、海水淡水化及びかん水淡水化施設を実施してきました。

海水、かん水淡水化施設整備状況

施行年度	施設名称	事業主体	計画給水人口 (人)	施設能力 (m ³ /日)
H12～H15	北大東村簡易水道海水淡水化施設	北大東村	710	320
S60～S61	渡名喜村簡易水道海水淡水化施設	渡名喜	700	240
"	栗国村簡易水道かん水淡水化施設	栗国村	1,200	400
S63 H6	波照間簡易水道かん水淡水化施設 海水淡水化施設	竹富町	700	240 230
H5 H12～H15	南大東村簡易水道海水淡水化施設	南大東村	1,750	300 430

沖縄コミュニティ・アイランド事業実施状況

年度	市町村名	事業名
H2~3	伊平屋村(伊平屋島)	友愛と健康の広場整備事業
H3~4	下地町(宮古島)	ふれあいの前浜海浜広場整備事業
H4~5	竹富町(波照間島)	サザンクロス交流広場整備事業
H5	座間味村(座間味島)	くじらの里ふれあい広場整備事業
H5~6	南大東村(南大東島)	フロンティアパーク整備事業
H6~7	渡嘉敷村(渡嘉敷島)	鯨海峡アイランド整備事業
H7~8	勝連町(津堅島)	キャロット愛ランド整備事業
H8~9	上野村(宮古島)	博愛リフレッシュパーク整備事業
H9	伊平屋村(伊平屋島)	ムーンライトマラソン
H9~10	具志川村(久米島)	白瀬川ロマン探索事業
H9~10	竹富町(西表島)	マンタの海ふれあいシップ事業
H10	竹富町(波照間島)	サザンクロス交流フェスタ
H10~11	多良間村(多良間島)	たらまゆがぶうランド整備事業
H10~11	仲里村(久米島)	タートルアイランド整備事業
H11	南大東村(南大東島)	ポロジノアイランド魅力発信交流フェスタ
H11~12	知念村(久高島)	ニラーハナー・ロマンアイランド整備事業
H11~12	伊良部町(下地島)	サンパアイランド整備事業
H12	北大東村(北大東島)	フレンドリー北大東島おこし
H12~13	与那国町(与那国島)	ヨナグニサン自然ふれあい広場整備事業

(3) 離島振興総合センター、
沖縄コミュニティ・
アイランド事業

離島振興総合センターは、離島における産業及び社会教育の実施、生活改善の推進、保健・福祉の増進、生活便益の確保並びに離島文化の振興等の多目的な機能を有する総合的な施設として建設されたものです。

これらの施設等は、昭和五十一年度から事業が実施され、平成二年度をもって事業は終了しました。それに代わる新たな事業として、離島の特性を生かした観光・レクリエーションの推進、他地域との交流促進などに必要な施設を整備するコミュニティ・アイランド事業が、平成二年度から実施され、平成十三年度の事業終了までに十九ヶ所の離島に施設整備が行われました。



コミュニティ・アイランド事業 タートルアイランド施設(久米島町)(亀の館・浦島館・モニュメント等)

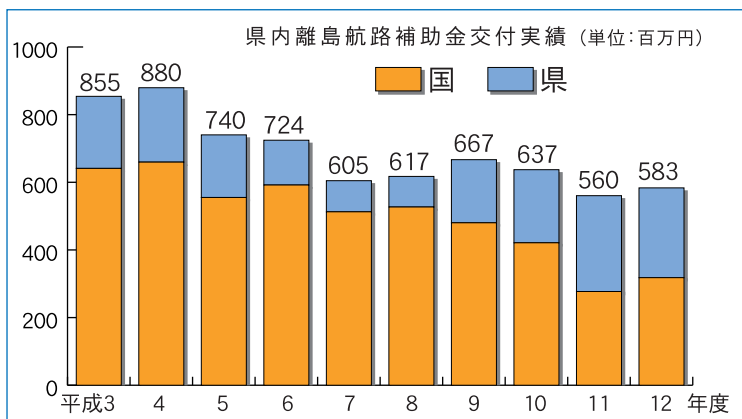
(4) 離島航路補助事業

多くの離島からなる沖縄県において、離島航路は離島住民の生活及び島の地域振興にとってかかすことのできない交通手段です。しかし、これらの航路は、過疎化現象が進むなかにあつて、一部の観光資源に恵まれた航路を除いて、赤字経営を余儀なくされているのが現状です。

そのための助成策として、離島住民の生活するうえに必要な不可欠な航路であり、一定の要件を備えた赤字航路については、離島航路整備法に基づき一定の基準で国庫補助航路として指定し、航路経営で生じた欠損額の補填を国及び県が助成する制度があります。

沖縄県の離島航路業者においても経営の合理化、サービス改善に努力を傾注しているにも関わらずそのほとんどの航路が赤字運営を余儀なくされています。

平成十四年三月時点で県内の離島航路は十七業者、十七航路ありますが、このうち十三業者が赤字航路となり国及び県からの補助金により補填されています。



本部町渡久地と水納島を結ぶニューウィングみんな(65トン)
平成10年6月就航